

ふるさと教育 取組事例

学校名	隠岐の島町立中条小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4年	総合的な学習の時間	中条大発見『蓮華会舞編』	蓮華会舞保存会会員 隠岐国分寺
ねらい	中条に昔から伝わる伝統行事(蓮華会舞) について調べる活動を通して、ふるさと中条を知る。		

1 取組の概要

隠岐の島町に古くから伝わる「蓮華会舞」の調査活動を行った。まず、4月21日に行われた「蓮華会舞」を実際に見に行き、自分たちが興味を持ったことや調べたいことを調べた。その際に、「蓮華会舞保存会」の会員さんに来校していただき、蓮華会舞についてお話を聞かせてもらったり、質問に答えてもらったりした。また、「眠り仏」「麦焼き」「竜王」これら3つの舞を教わり、実際に笛の音に合わせて舞を体験した。さらに、国分寺に出かけ、蓮華会舞に使用される衣装やお面を見せていただいたり、復興に向けたドキュメンタリーのDVDを鑑賞したりして、蓮華会舞に関する知識を深め、そのよさを肌で感じた。

学習で学んだことや感じたことを1月のすじこ発表会にて地域に向けて発信した。



2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

蓮華会舞は、平安時代から1200年の時を超え、地元住民により継承されてきた貴重な芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されている。隠岐国分寺は校区内にあり、舞に参加する児童もいる。自分たちにとって身近な蓮華会舞を調べることを通して、ふるさとへの愛着を深め、さらに次世代へ継承していこうという態度を育成する。

(学力育成の視点から)

実際に舞を見たり、舞を体験させたりしながら、主体的な学びとする。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

「蓮華会舞をもっと知りたい」「蓮華会舞を体験したい」という気持ちを持ち、学習に参加する姿が見られた。また、蓮華会舞を守り、継承してきた先人たちへの尊敬の気持ちを持ち、ふるさと中条への愛着と誇りを高めた。

(学力育成の視点から)

自分たちの地域に伝わる伝統行事を見たり体験したりすることで、主体的に学習を進めることができた。また、保存会の方のお話やドキュメンタリーDVDについても関心を持ち、蓮華会舞への知識を深めることができた。1月の参観日は、それぞれの学びを表現する場となった。

4 課題や今後の展望

今後も続けていくには、「蓮華会舞保存会」の方の指導や支援など協力が欠かせない。また、隠岐国分寺での調査も必要不可欠である。